

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

猛暑といわれた夏の暑さも和らぎ、だんだんと涼しい日も多くなってきました。いよいよ、季節は秋になってきます。高3生においては、夏休みの勉強の成果を確認し、志望校の過去問演習などを本格的に実施する時期となってきました。

一方、高1・2生においては、計画的に学習を進めていくことはもちろん重要ですが、自分の将来について考えることも重要な時期といえます。高校によっては9月～11月の時期に、次年度の「文理」選択や、「国公立・私立」のコース選択、授業の科目選択などを行う学校も多いのではないのでしょうか。

夏休み中、オープンキャンパスなどに行き、具体的に志望校が決まったという人もいますが、予定の兼ね合いでオープンキャンパスに行けなかったという人もいます。また「将来やりたいことが分からないし、数学が苦手だから、文系

Q. 「やりたいこと」を見つけるきっかけは？

に行こうかな」というように、自分の苦手科目から進路選択をしてしまう人もいるのではないのでしょうか。

大学の学びというのは、学部や学科によって学ぶ内容が大きく異なります。また、高校までの学習以上に大学での学びは「正解が決まっていないこと(課題)に対して、論理的に物事を考え、答えを導きだそうとするとする力(課題解決能力)」が求められます。

安易に進路選択をし、大学入学後に「こんなはずではなかった」と退学してしまう学生は少なくありません。だからこそ、この時期に「自分の将来やりたいこと」や、志望校のことを真剣に考えてもらいたいと思います。

インターネットなどを使って大学について調べることは一つの手段です。しかし自分で直接大学の担当者や学生と話をすることで、イメージが湧きやすくなります。

そのためのイベントの一つを紹介したいと思います。それは9月30日の日曜日にパシフィコ横浜で開催される「大学進学フェスタ」です。このイベントでは、大学の担当者と直接話ができる「入試相談コーナー」、大学の学生と直接話をし、受験勉強のアドバイスもしてもらえる「受験相談コーナー」、大学での学びや研究内容を体験できる「学びの体験コーナー」や「模擬授業コーナー」など、実に100以上の大学の情報を一気に集めることができます。

「自分がやりたいこと」を見つけるきっかけは「非日常」を体験することです。いつもと違う刺激を受けることは、自分にとっての新たな発見があるはずで、ぜひ、自ら行動し、自分の将来を考えてみましょう。(CG高等館・東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。

A. 自ら「非日常」を体験し、新たな発見を



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校
各校舎で無料配布中